

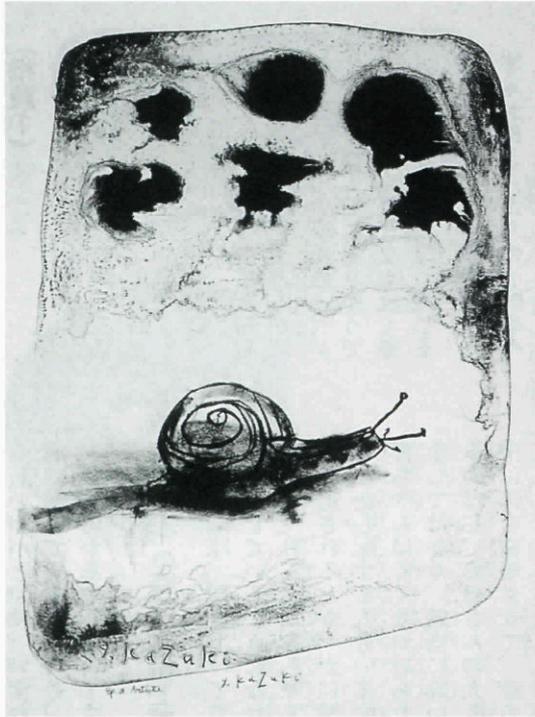
夏が四季の中で一番好きだった

# <私の>夏展

平成9年

5月31日(土)～9月28日(日)

「昔は夏が一番好きな季節だった。海も川も近いし、夏休みもあったから。」と香月は言っていた。「二人座像」(美大卒業制作)に始まり、「石と壺」「釣り床」「祖父」等、夏の自然と人の生命力に溢れる作品を制作した。戦後は、画家の描きたい感性を触発するモチーフ「風」「牡牛」「水浴」「鹽舟」「遊泳」等を大胆で大らかな画面に仕上げた。透明で特異な光を満ち、温かさが伝わってくる。こうした絵を貧欲にキュービクな表現で制作し、豊かな色彩画家といわれた。



蝸牛(45.0×33.0) 1964年(版画)

黒を主体に独自の画風を確立した晩年は、「水浴にも興味がなくなり、しめっぽい潮風がきらいになった。ただ日照時間が長いので余命が短くなった私には、一日一日が長く感じられてありがたい。」と制作の貧欲さをつのらせ、「蟬の声を聞きながら汗をふきふき仕事場にいると、生きた実感がわく。」と言って猛烈に仕事をした。

独自の様式に到達した香月の絵は、日本の夏の風物を単純化し、その単純化を高めて見事なフォルムで躍動感を描き出した。昆虫、動物、魚介類、花など、そこには詩人的要素の強い香月の面目が躍如としている。

今回は初期から晩年までの、香月の夏の作品をごゆっくりお楽しみ下さい。

## 香月泰男スケッチ集 発売中

(モロッコ・グランカナリヤ篇)

<私の>旅モロッコグランカナリヤ展(2/8～5/25)に関連して、スケッチ小品集(モロッコ・グランカナリヤ篇)を発売しています。「闘牛」を中心に、モロッコの風物や花を描いたもので、1セット12枚を1,200円で販売していて、その額縁も準備しております。記念品や贈り物としてご利用下さい。

- ◆三隅町内バドミントン大会
  - ・期日 平成9年3月20日(木)
  - ・会場 三隅中学校体育館
  - 〔A級男子の部〕
    - 優勝 上田 憲志(土手)
    - 田原耕三郎(長門)
  - 〔B級男子の部〕
    - 優勝 金子 宏道(中村)
    - 江原ひろみ(長門)



- ◆第26回萩市職域団体対抗バドミントン大会(2市4町)
  - ・期日 平成8年9月15日(日)
  - 〔A級男子団体の部〕
    - 優勝 三隅バドミントンクラブ
  - ◆長門市バドミントン大会(2市3町)
    - ・期日 平成9年2月16日(日)
    - 〔男子団体の部〕
      - 優勝 三隅バドミントンクラブ(2年連続優勝)

## 体育協会 バドミントン部 結果報告

- 〔子ども向〕
  - 「用寛さん本伝」 修行の巻 杉山亮/フレールベル館
  - 「ソフィアのねがいごと」 ウェンディー・オール(文) ゆあさふみえ(訳) / あすなる書房
  - 「ママとあたしのサンドイッチハウス」 高山栄子/ポプラ社
  - 「身近な自然の不思議」 松尾龍之介/河出書房新社
  - 「ぼくたちのコンニャク先生」 星川ひろ子(写真・文) / 小学館
  - 「わたしはトメ、19歳」 中田光彦/ピブリオ出版
  - 〔大人向〕
    - 「源氏物語」巻二 瀬戸内寂聴(訳) / 講談社
    - 「失楽園」上・下 渡辺淳一 / 講談社
    - 「楽しく踊れるダンス入門」 石原久嗣/日本文芸社
    - 「アジア自転車旅」 澁谷義人/連合出版
    - 「カタカナで覚える韓国語会話」 許秦(編著) / 金園社

新刊図書紹介  
トレセン図書室より